

伊那市地方創生総合戦略

【第2版（案）】（抜粋）

平成 28 年 2 月
伊 那 市

(2) グローバル社会に対応した地域拠点整備 (移住・定住・交流の促進)

① 移住・定住の促進

- シティプロモーションにより、伊那市の魅力を発信し、UJI ターンや二地域居住を促進します。
- 移住・定住者の受け入れ環境の整備を推進します。
- 県、上伊那地域市町村、宅建業者等と連携しながら、市町村域を越えた移住相談窓口の設置等により、官民一体となった移住・定住の促進に取り組みます。
- 民間の活力による住環境の整備を推進し、転入者の増加を図ります。

② 地域資源を活用・継承した観光振興

- 本市の有する2つのアルプス、タカトオコヒガンザクラ、パノラマ(眺望)などの地域資源の重要性を周知し、これらを継承していくとともに、これらの地域資源を活用した観光施策を推進することにより、交流人口を増やし、観光業の振興を図ります。
- 企業、大学、県、上伊那地域市町村等と連携し、統一デザインの活用などによる沿道景観の育成等を通じた誘客促進に取り組みます。

③ 都市間交流の推進と国際性豊かな地域づくり

- 人と人のコミュニケーションを大切にしながら、都市圏の新宿区をはじめとする友好都市との交流により、魅力ある地域情報を発信し、交流促進及び定住人口増加を図るとともに、国際交流を通じ、多文化共生のまちづくりを推進します。

○将来を見据えた住環境の整備

民間活力を主体とした住宅供給の誘導や良質な市営住宅の整備など、将来を見据えた住環境の整備を推進します。

事業の内容

○住環境の整備促進

- ・住生活基本計画の推進
- ・空き家バンク事業の充実
- ・快適な住環境の整備
- ・居住形態に応じた住まいのゾーニング
- ・若者と高齢者が集う伊那市版 CCRC の研究・検討
- ・市の特徴を生かしたコンセプト住宅プランの情報提供
- ・市営住宅の整備
- ・まちなか居住の推進
- ・田舎暮らしモデル地域

○地域資源を活用した住環境整備の促進

- ・地域で育てるキットハウスの普及

担当部署名

総務部人口増推進室
農林部耕地林務課
建設部管理課
建設部都市整備課

重要業績評価指標（KPI）	現状値	指標値（H31）	備考
空き家バンク事業による定住者（世帯数）	7世帯/年(H26)	15世帯/年	

② 地域資源を活用・継承した観光振興

○地域資源を活用した観光振興事業

信州そば発祥の地「伊那」のPRや、日本ジオパークに認定された南アルプス、天下第一の高遠の桜へ誘客を図り、地域の活性化につなげます。「山」「花」「食」という伊那谷の強みを生かした広域的な観光を推進します。

事業の内容

○「信州そば発祥の地 伊那」のPR

- ・スタンプラリー等PRイベントを開催する

○山岳観光の振興を推進

- ・南アルプス登山の拠点整備の推進
- ・南アルプスとジオパークへの二次交通運行による観光誘客

○観桜期の二次交通運行による観光誘客

担当部署名

商工観光部観光課

重要業績評価指標（KPI）	現状値	指標値（H31）	備考
そばイベント及びそば店来場者	12,500人(H26)	15,000人/年	
南アルプス 期間中のバス乗車延べ人数	520人(H26)	1,000人/年	
南アルプス 観光消費額	5,813千円(H26)	11,180千円/年	
観桜期 期間中のバス乗車延べ人数	(新規)	192人/年	
観桜期 観光消費額	(新規)	2,496千円/年	

○ジオパーク・エコパークエリアの広域連携による観光誘客事業

「南アルプスユネスコエコパーク」、「南アルプス（中央構造線エリア）ジオパーク」に登録されている4市町村（伊那市、飯田市、富士見町、大鹿村）で連携し、南アルプスエリアを核とした広域周遊ルートを作成し発信、国内外の観光客増加を図ります。

また、中央アルプスの日本ジオパーク認定を目指し、関係する6市町村（伊那市、駒ヶ根市、飯島町、南箕輪村、中川村、宮田村）で連携し、中央アルプスの地域資源を生かした観光地域づくりを推進します。

事業の内容

○南アルプス関連

- ・観光情報・写真收集整理、エコパーク・ジオパーク看板レイアウト作成、設置
- ・広報事業（フリーペーパー作成）
- ・観光アプリ（多言語による観光地・おすすめ周遊コースの発信を行う）の開発

○中央アルプス関連

- ・誘客イベント開催、パンフレット・案内パネル・誘導標識の作成
- ・登山道や園路の整備

担当部署名	商工観光部世界自然遺産登録・エコパーク・ジオパーク推進室		
重要業績評価指標（KPI）	現状値	指標値（H31）	備考
南アルプスエリアの観光地利用者延べ数	929,400人(H25)	954,600人	
観光地利用者延べ数（伊那西部高原）	（新規）	530,000人	

○農業就農支援事業

新規就農支援や農林業体験の実施により移住定住促進を図ります。

事業の内容

○農林業農村体験研修事業

- ・首都圏の若者を対象とした体験研修による移住定住の促進

○農業用機械施設情報の収集及び提供

- ・使用可能な農機具の登録制度を開設
- ・ホームページの構築による使用希望者への情報提供

○農業体験ツアー

- ・地元農家との関わりの中で、伊那市の農業を体験することにより、伊那市のファンを獲得

担当部署名	農林部農政課		
重要業績評価指標（KPI）	現状値	指標値（H31）	備考
新規就農者数	29人/年(H27)	20人/年	
登録農業機械及び利用者数	（新規）	10件/年 10人/年	

① 産業の活性化による雇用の促進

○企業の活性化による労働者確保・育成事業

若年労働者確保に向け、地域に仕事をつくり、安心して働ける環境を整えるため、地元企業に対し支援を行います。

事業の内容

- 若者正規雇用・育成奨励
 - ・若年者の安定した雇用の確保や研修機会が与えられるよう環境整備を行う事業主を支援
- 新産業創出グループ支援
 - ・地域に新たな産業を生み出すため、3社以上のグループが行う新産業創出の調査研究を支援
- 企業の展示会出展支援
 - ・企業活動活性化のため、中小企業者等の出展を支援
- 創業資金支援
 - ・起業、創業、第二創業計画者に対し、創業資金の一部を支援
- 元気ビジネス応援隊派遣
- 工業技術ガイドブック作成
 - ・伊那市公式ホームページで公開している情報を冊子化し、展示会等で配布
- サテライトオフィスの誘致
- リーディング・カンパニーの育成

担当部署名

商工観光部商工振興課

重要業績評価指標（KPI）	現状値	指標値（H31）	備考
1年以上継続雇用された若者（採用時25歳以下）の数	（新規）	200人/年	
グループ新産業の創出	0件/年（H26）	1件/年	
補助企業の展示出展による商談成立件数	86件/年（H26）	95件/年	
ビジネスフェア出展による商談件数	1社平均2.6件/年（H26）	1社平均10件/年	
共同出展による商談件数	（新規）	200件/年	
新規創業・第二創業件数	（新規）	2件/年	
元気ビジネス応援隊派遣企業数	6件/年（H26）	9件/年	
冊子掲載による商談件数	（新規）	10件/年	

○起業・創業支援事業

中心市街地の区域内にある空き店舗等を活用し、集客に役立つ施設及び店舗を開設する事業を支援し、新たな産業を育成して、市街地の活性化を図ります。また、創業支援センター入居者の市内への独立を支援します。

事業の内容

- 創業支援センター独立支援
 - ・市内への操業を促進するための独立支援助成（伊那市創業支援センターの入居者に対し、空事業所等の家賃を支援）
- 空き店舗等を活用した起業支援
 - ・創業を考えている者に店舗等の賃借料を支援
 - ・創業に伴う店舗等の内装、設備工事費を支援
- 魅力ある産業創業支援
 - ・製造業、ソフトウェア業、新技術新製品の研究開発などの創業を支援

担当部署名

商工観光部商工振興課
商工観光部産業立地推進課

重要業績評価指標（KPI）	現状値	指標値（H31）	備考
創業支援センターから市内への新規独立件数	0件(H26)	2件/年	
Uターンによる新規起業者の数	0人(H26)	3人/年	
中心市街地で起業した者の数	(新規)	2人/年	

○ふるさと回帰就業支援事業

新卒者と企業とのマッチングの機会を多く作ることにより、地域への就業を促進します。

事業の内容

- 企業説明会・就職面接会促進
 - ・首都圏等で開催される企業説明会等へ企業の出展に対し費用を支援
- インターンシップの促進
 - ・インターンシップの実施計画を策定し、学生の受け入れを行った企業を支援
- 合同企業説明会開催支援
 - ・首都圏の学生を対象に、企業説明会会場まで送迎バスを運行する。

担当部署名

商工観光部商工振興課

重要業績評価指標（KPI）	現状値	指標値（H31）	備考
市が指定する企業説明会及び就職面接会へ出展した企業の数	(新規)	20社/年	
実施計画を策定し、インターンシップ生を受け入れた企業の数	(新規)	20社/年	
企業説明会参加者のうち、市内企業に正規雇用された者の数	(新規)	40人/年	

○中心市街地の活性化

まちの顔である中心市街地のあり方を研究し、特徴ある店づくり、市民に愛される店づくり・まちづくりの取り組みを支援し、商店街の活性化とにぎわいのある「歩いて楽しいまちづくり」を推進します。

事業の内容

○歩いて楽しいまちづくり

- ・中心市街地の環境整備
- ・自主的なまちづくりの推進
- ・駐車場の管理運営
- ・空き店舗の活用促進

担当部署名

商工観光部商工振興課

重要業績評価指標（KPI）	現状値	指標値（H31）	備考
「伊那市中心市街地活性化基本計画」により指定された区域が含まれる地区（山寺・坂下・荒井・西町・中央）の卸売業・小売業の店舗数	335店舗（H24）	330 店舗	

○雇用の安定と人材育成

だれもが自らの能力を発揮し、いきいき働くことのできる雇用機会の確保と労働環境の整備を進めます。

事業の内容

○雇用機会の確保

○若年労働者への支援

- ・伊那市で就職する奨学金返済者を対象に奨学金返済を支援

○さまざまな就労支援

- ・人材育成への支援
- ・高齢者の雇用促進
- ・男女の均等な雇用確保
- ・パートタイム労働者の適正雇用
- ・外国人労働者の適正雇用
- ・潜在的な能力を有する障がい者の雇用促進

○女性が労働パフォーマンスを発揮できる企業の育成

- ・都市圏において子育て、介護技能を有する人材の雇用促進
- ・地方における自己実現の支援
- ・都市圏における子育て、介護面で離職せざるを得ない労働者への保健福祉サービス提供による移住促進及び企業における人材の確保
- ・女性が働きやすい職場環境の整備

担当部署名

商工観光部商工振興課

○森林・林業地産地消推進事業

近年身近にある森林資源の薪が見直されるとともに、地域で生産されている木質ペレットが評価を得ており、一般家庭での森林資源を活用した木質バイオマス燃料によるストーブなどが普及し、地域住民の意識高揚と共に今後さらに木質バイオマス燃料の需要が増えるものと見込まれます。

そのため、伊那市内の森林において、採算性の悪化などの影響から搬出されずに未利用材として残される資源を利用するため搬出を奨励し、**また、木質バイオマス燃料としての消費を促すことで、未利用材の活用を促進します。**

未利用材の搬出促進及び消費拡大により、山元へお金が還元するルートを確立し、後世へ森林資源を残せるように健全な森林のサイクルの基盤づくりを進めます。

事業の内容

- 搬出奨励金
- 搬出促進のための林業団体が購入した機器購入費用への補助
- 林業女子会体験ツアー、**エコエネルギーツアー**の実施
- 木質バイオマス燃料利用促進のためのペレットボイラー設置に対する補助**
- 都市や企業と連携したカーボン・オフセットの推進

担当部署名

農林部耕地林務課

重要業績評価指標（KPI）	現状値	指標値（H31）	備考
未利用材の搬出	（新規）	300 m ³ /年	
地域材の製品出荷量	15,217 m³/年（H25）	20,000 m³/年	
ペレットボイラー及びストーブ導入数	33台/年（H26）	70台/年	
地域内のペレット消費量	（新規）	450 トン	
エコエネルギーツアー参加者	（新規）	100人	

○農業経営基盤の強化と地域の活性化

地域の特色を生かした特産品のブランド化や6次産業化を目指すとともに、担い手・新規就農者の確保に向けた施策を進め、効率的で安定した営農形態の構築により、農業経営の基盤強化と地域の活性化を図ります。

事業の内容

- 安定した営農形態の構築
 - ・効率的な営農形態の構築
 - ・担い手の育成と農地集積の推進
 - ・鳥獣被害対策と農地保全の推進
 - ・作物別農業研修事業
 - ・儲かる水田農業と畑作農業の振興
 - ・新規就農者・定年帰農者への支援
 - ・経営コスト抑制対策の推進
- 特産品ブランド化の促進
 - ・特産品の研究開発の推進
 - ・地域食材を取り入れたレシピの作成
 - ・販売体制の強化
 - ・信州大学農学部と連携した商品開発
- 地域振興
 - ・農業による地域活性化
 - ・伊那市農業振興センターの充実

担当部署名

農林部農政課

重要業績評価指標（KPI）	現状値	指標値（H31）	備考
農業産出額	58億円（H24）	59億	
新規就農者数	10人（H24）	100人	
集落営農法人数	6法人（H24）	12法人	

○良質な森林資源の整備と多目的利用

森林資源の多目的利用を図るため、森林の多様な活用策を研究し、良質な森林資源の造成や、地球温暖化防止、水源かん養など、環境保全のための適切な森林整備を進めます。

事業の内容

- 森林整備の推進
 - ・計画的な森林整備の推進
 - ・林業の振興
- 森林保全の推進
 - ・治山治水事業の推進
 - ・有害鳥獣による林業被害防止策の充実
- 森林資源の多目的利用
 - ・森林資源活用の推進
 - ・環境学習の推進
- 伊那市産木材のブランド化
 - ・「伊那松」「伊那落葉松」「伊那ハードウッド」「伊那松茸」の地域団体商標登録の推進
- 市域材利用の促進
 - ・市域材利用の住宅等の新築及び増改築への支援

担当部署名

農林部耕地林務課

重要業績評価指標（KPI）	現状値	指標値（H31）	備考
間伐実施面積	475ha/年（H18）	500ha/年	
市域材の地域内消費量	（新規）	500 m ³	